小栗上野介忠順と横須賀 略年表

1827年(1歳)
小栗忠順、駿河台(現在の東京都千代田区)の屋敷に長男として生まれる。父は中川忠英の四男忠高、母は小栗くに、幼名剛太郎。

1843年(17歳)
小栗忠順、初めて江戸城へ登城し、将軍にお目見えする。

1853年(27歳)
この年、浦賀沖に黒船が来航し、久里浜に上陸。

1859年(33歳)
井伊直弼に抜擢され、目付となり日米修好通商条約締結批准のため遣米の命を受ける。

1860年(34歳)
小栗忠順、米艦ポウハタン号に乗船。日本初の遣米使節として渡米。海軍造船所などを視察し、アフリカ・東南アジア経由で帰国。欧米の近代化と植民地化された国々の実情を見聞し、工業力強化の必要性を痛感する。

1864年(38歳) 小栗忠順、上野介に。
フランス公使レオン・ロッシュと会談。造船所の建設計画を相談。幕府は軍艦修理の技術力と誠意ある対応を評価しフランスに建設を依頼。建設地は、フランスの軍港ツーロン港と地形が似た横須賀に決定。

1865年(39歳)
若く優秀な造船技術者であるフランス人のヴェルニーが来日。横須賀製鉄所起工。

1868年(42歳)
明治維新により、1月に小栗上野介忠順は全ての役職を罷免され、権田村(現在の倉渕町権田)への土着を決意。3月に権田村へ到着し、東善寺で仮住まいを始める。閏4月6日(現在の5月27日)倉渕町水沼の烏川河原で、明治新政府軍に斬首される。

1871年(没後3年)
待望の1号ドックが完成。名称も「横須賀製鉄所」から「横須賀造船所」に変わる。

1905年(没後37年)
日露戦争中 日本海海戦でロシアのバルチック艦隊に勝利。

1912年(没後44年)
連合艦隊司令長官　東郷平八郎、小栗上野介忠順の子孫・小栗又一を招待し、感謝の意を述べる。

2027年(没後159年、生誕200年)
大河ドラマ「逆賊の幕臣」(NHK)
2027年1月10日(日)放送開始！

Yokosuka 横須賀市観光情報
横須賀の観光 遊び情報Check!!
www.cocoyoko.net

横須賀の観光スポット、イベント情報を紹介する公式サイトです。旬のイベント、横須賀でしか味わえないグルメなどの情報が満載!
横須賀に行くなら横須賀市観光情報サイトをCheck!!



お問い合わせ 横須賀市コールセンター
年中無休 月～金 8:30~17:15 土日・祝休 8:30~16:00
☎046-822-4000

YOKO SUKA
よこすかルートミュージアム公式WEBサイト
ルートミュージアムとは、横須賀市全体を大きな博物館(ミュージアム)のように考え、横須賀の歴史や文化の見どころ、自然豊かなスポットを、目的に合わせて自由に周遊し、楽しんでいただく取り組みです。

文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan 令和8年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
この事業は、神奈川県川崎競馬組合の競馬事業収益金を活用して実施しています。

発行：横須賀集客促進・魅力発信実行委員会(横須賀市・京浜急行電鉄株式会社・横須賀商工会議所・一般社団法人横須賀市観光協会)
事務局：横須賀市文化スポーツ観光部 観光課 ☎046-822-8124
注)価格等の掲載内容は令和8年11月時点の情報です。　令和8年11月発行

大河ドラマ 逆賊の幕臣

**大河ドラマ「逆賊の幕臣」(NHK)
2027年1月10日(日)放送開始！**

日本近代化の原点 ～小栗の夢が実現したまち～

横須賀
小栗忠順ゆかりの地



小栗忠順ゆかりの地「横須賀」WEBサイトはこちらから



小栗 おぐり 上野介 こうずけのすけ 忠順 ただまさ

小栗の渡米
2027年放送の大河ドラマの主人公である小栗は、条約履行を両国で確認するための使節の一員として渡米し海軍造船所などを視察、アフリカや東南アジアを回って帰国しました。

造船所建設の決心
近代化が進むアメリカと植民地化された国々を見聞した小栗は、世界的な視野で日本を捉え、工業力強化の必要性を痛感します。そして、勘定奉行などを歴任し、近代的な工場建設と人材育成の実現を目指し、造船所設立のために尽力しました。小栗は、たとえ幕府が倒れても横須賀にできる造船所は日本近代化の礎になると予言し、建設を強く推し進めました。

小栗の死
このほかにも近代化に向けた政策を立案した小栗は、新政府軍により志を絶たれ、今は群馬県の東善寺に静かに眠っています。後に大隈重信は、明治政府の近代化政策は、幕臣であった小栗の構想を模倣したに過ぎないと語り、その先見性を高く評価しています。

小栗上野介忠順を紐解く その壱

横須賀製鉄所(造船所)

横須賀に造船所の建設を決定
造船所建設にあたり、当初指導を仰ぐ候補だったアメリカは、国内で南北戦争が勃発し、日本への協力に手が回りませんでした。一方フランスは、欧米列強の中で遅れていた東洋進出の足がかりを求めていました。その中で、幕府は軍艦修理の技術力と誠意ある対応の良さから、フランスに造船所建設を依頼します。建設地は、フランスの軍港と地形などが似ている横須賀に決まり「横須賀製鉄所」と名付けました。

横須賀製鉄所の影響
この場所には、西洋の最先端技術を学ぶため全国から優秀な若者が集まり、近代工学・工業技術からフランス料理まで、多くの分野にわたる技術者や専門家が誕生しました。
ここに西洋技術の伝承という小栗の夢の一つが結実しました。



小栗上野介忠順を紐解く その弐

記念艦三笠


▲三笠公園の東郷平八郎像

東郷平八郎率いる連合艦隊の旗艦「三笠」は、横須賀でメンテナンスされ、日露戦争で十分に性能を発揮します。艦船間の通信で重要な無線機が国産化され、日本海海戦での勝利に大きく貢献しました。
バルチック艦隊に勝利した東郷平八郎は、明治45年(1912)、自宅に小栗上野介の子孫・小栗又一を招待し、感謝の意を述べました。「日本海海戦でロシア艦隊を破ることができたのは、小栗さんが横須賀造船所を造っておいてくれたおかげです」と残しています。開国から50年あまりで日本は西洋の土木や造船などの技術を習得すると共に、横須賀で無線通信の技術が進化し、今と未来を支える先端技術につながっています。



ゆかりの地はほかにも！

小栗上野介忠順
ゆかりの地
群馬県高崎市

小栗忠順のライバル
勝海舟ゆかりの地
東京都大田区



本町2-1-12
YOKOSUKA軍港めぐり
米海軍、海上自衛隊の艦船と横須賀製鉄所跡地を間近に見れるクルージングツアーが楽しめます。

新港町6
いちご よこすかポートマーケット

三浦半島の食の魅力を発信する新しい拠点。「三浦半島フードエクスペリエンス」をテーマに、新鮮な海の幸・山の幸、地元の名店や横須賀みやげなど、多彩なお店が集まっています。

❶ ヴェルニー・小栗記念館
汐入町1-1 ヴェルニー・小栗公園内



フランス人技師ヴェルニーの功績と横須賀製鉄所の意義を紹介する施設です。保存展示されているスチームハンマー2台は、江戸時代末期の1865年に横須賀製鉄所に輸入されたもので、船や機械の部品を作るために使われました。国の重要文化財に指定されています。
小栗忠順の足跡にもふれられ、観光案内所やお土産コーナーも利用できます。

❷ ヴェルニー・小栗公園
汐入町1-1



横須賀製鉄所跡地（現米海軍横須賀基地）を対岸に望む、フランス庭園様式を取り入れた公園です。園内には、ヴェルニーと小栗忠順の胸像や、広場を中心にフランス式花壇や噴水などが設けられ、約130品種・約1,300株のバラが彩りを添えています。

❸ よこすか近代遺産ミュージアム ティボディエ邸
汐入町1-1 ヴェルニー・小栗公園内



ティボディエ邸は、横須賀製鉄所副首長ジュール・セザール・クロード・ティボディエの官舎で、1869年頃に建築され、2003年の解体時まで本州最古級の西洋館でした。このミュージアムでは、その小屋組みを移設した実物展示のほか、日本近代化の礎となった横須賀製鉄所の歩みなどを展示しています。

❹ 世界三大記念艦「三笠」
稲岡町82-19



1902年、イギリスで建造された戦艦で、日露戦争では東郷平八郎司令長官が乗艦する連合艦隊の旗艦として大活躍しました。1926年に記念艦「三笠」として保存され、現存する世界最古の鋼鉄戦艦として海事遺産賞を受賞するとともに、日本遺産の構成文化財に認定されています。

❺ 横須賀自然・人文博物館
深田台95



ルートミュージアムの核として、ペリー来航や横須賀製鉄所など、横須賀の近代化に関する様々な資料を展示しています。自然分野では、ナウマン象の化石や三浦半島の動植物をジオラマで紹介し、人文分野では、縄文土器・はにわ、生活を支えた道具など本物を間近に見ることができます。

❻ 走水水源地
走水1-2-1



1876年、フランス人技師ヴェルニー指揮のもと、横須賀製鉄所の用水として使用したことに始まる歴史ある水源地です。煉瓦造貯水池とコンクリート造浄水池は、国登録有形文化財・日本遺産構成文化財に指定されており、今なお現役施設として活躍しています。
「ヴェルニーの水」と名付けられたこの湧き水は、駐車場敷地内の水栓から飲むことができます。
※湧水を膜ろ過設備によって浄水したものです。

❼ 観音埼燈台
鴨居4-1187



日本最初の洋式灯台としてフランス人技師F.L.ヴェルニーにより建設されたもので、1868年に起工、1869年1月1日（現在の2月11日）に点灯しました。
初代は横須賀製鉄所で作られたレンガを使用した洋館建ての灯台でしたが1922年の地震で壊れ、1923年3月に二代目が再建されましたが、同年9月の関東大震災で再度倒壊、現在は三代目で1925年に再建（コンクリート造）されております。

❽ 浦賀ドック
浦賀4-7　※ガイドツアー等で見学可能（有料）



1899年に建造されてから2003年に閉鎖されるまで約1,000隻にのぼる艦船等を造り続けてきた住友重機械工業株式会社旧浦賀工場の跡地です。
日本丸や海王丸をはじめ、青函連絡船・護衛艦などの船がこの造船所で建造され、街は働く人たちでにぎわいました。
レンガ造りのドライドックを見られるのは国内で唯一ここだけです。

❾ ペリー公園
久里浜7-14



ペリー上陸を記念してつくられた公園であり、園内の中央に立つ記念碑は、1901年に米友協会が建立し、碑文の「北米合衆國水師提督伯理上陸紀念碑」は伊藤博文によるものです。
園内のペリー記念館内には、ペリー来航に関する歴史的資料や模型などが数多く展示されています。


初代観音埼燈台
提供：公益社団法人燈光会


久里浜上陸の図（アメリカ人の日本初上陸）
提供：横須賀自然・人文博物館

ゆかりの地 散策マップ